

公益社団法人 全日本医薬品登録販売者協会
令和8年度 登録販売者生涯学習研修

第3講座『痛みを主訴としない主に胃の症状』



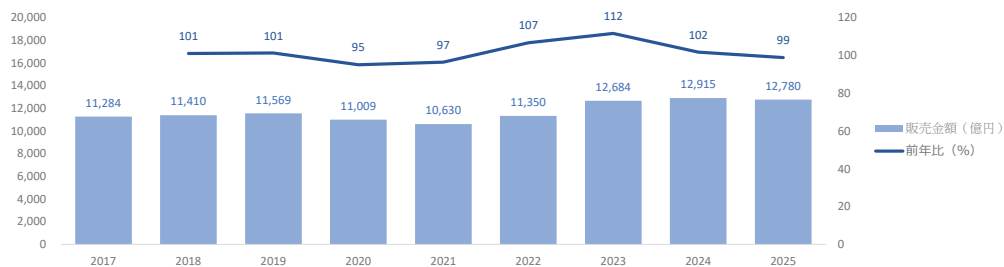
株式会社太田胃散
2026年7月3日現在

説明の流れ

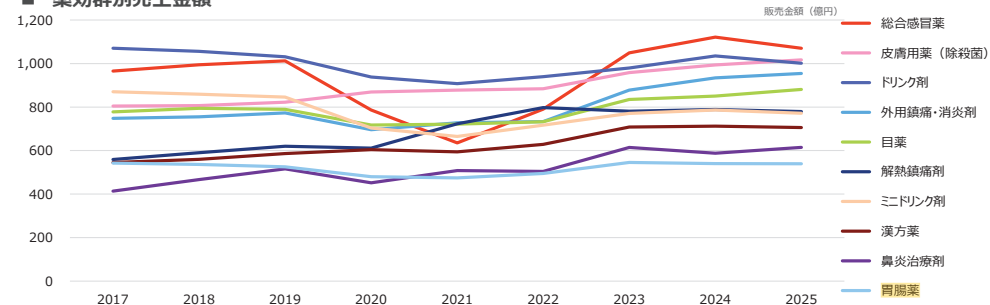
1. OTC市場動向
2. 年代別 胃の症状
3. 胃のはたらき
4. 胃腸薬製造販売
5. 各成分の特徴
6. 胃腸薬成分と対応する症状
7. 代表的な漢方処方
8. 包装容器・添付文書への記載
9. 使用上の注意
10. 受診勧奨

OTC医薬品 市場動向および薬効群別売上推移

■ OTC医薬品市場(全体)金額



■ 薬効群別売上金額



胃腸薬カテゴリー別 上位5ブランド

■ タイプ別上位5ブランド (2026年4月)

総合	太田胃散S	キャベジンコーワαプラス	第一三共胃腸薬 s	第一三共胃腸薬 プラス	パンシロン 01プラス
制酸	パンシロンキュアSP	スクラート胃腸薬	スクラートG	サクロン	イノベインAZ 胃腸薬
漢方	大正漢方胃腸薬	太田漢方胃腸薬 II	大正胃腸薬K	サイキョウ 漢方胃腸薬 SP	フジイ陀羅尼助丸
健胃	新セルベール整胃 プレミアム	御岳百草丸	セルベール整胃	恵命我神散S	液キャベコーワ
健胃清涼剤	ソルマック 5	液キャベコーワA	ヘパリーゼ胃腸 ドリンク	キャベジンコーワ 胃腸錠	パンシロン 胃腸顆粒
一般用 H2ブロック	ガスター10	ガスター10S	ハリー胃腸薬	ファモガスOD錠 10	ファモガス錠10
鎮痛鎮痙	ブスコパンA	ファイトップOZ NEO	サクロンQ	太田胃散 ベイノン錠	大正胃腸薬P
一般用PPI	タケプロンS	バリエットs	オメプラールS		
消化	タナベ胃腸薬ウルソ	新タカチア錠	ガロール	オルスピー錠	フクナガファミリー胃腸薬

年代別 胃の不調

■ 胃の不調

Q.あなたは普段、胃にどのような不調を感じることがありますか？（複数選択）

	全体※	20代	30代	40代	50代	60代	70代
胃痛	21.9%	23.4%	28.7%	28.3%	26.4%	20.0%	13.1%
胃もたれ、胃が重い	42.6%	42.3%	47.5%	48.3%	44.2%	41.5%	37.1%
胃の不快感	28.4%	26.9%	31.2%	32.6%	27.9%	28.6%	25.3%
食欲不振	10.2%	18.8%	15.4%	11.9%	8.6%	7.3%	6.9%
胸やけ	26.0%	22.8%	25.0%	24.6%	26.2%	27.7%	27.0%
吐き気 （二日酔い・悪酔いのむかつき）	10.7%	19.1%	18.5%	14.6%	10.7%	7.2%	4.0%
胃弱	10.1%	12.8%	14.0%	12.3%	10.2%	8.3%	7.3%
食べ過ぎ／消化不良	38.2%	46.5%	47.1%	44.8%	40.6%	33.3%	29.3%
飲み過ぎ	14.7%	16.9%	17.9%	16.8%	16.0%	15.0%	9.7%
胃酸過多	18.2%	11.9%	13.9%	17.0%	18.3%	20.8%	21.1%
胸つかえ	9.7%	10.7%	11.1%	11.0%	9.0%	8.5%	9.4%
その他	0.7%	0.5%	0.2%	0.2%	0.5%	1.0%	1.4%

※「胃に不調を感じることはない、あてはまるものはない」と回答した方を除外した計26032名

・胃の不調としてよくみられるのは「胃もたれ、食べ過ぎ・消化不良」

年代別 対策

■ 胃の不調の対策

Q.あなたは、胃の不調の対策として、どのようなことをされていますか？（複数選択）

	全体※	20代	30代	40代	50代	60代	70代
医療機関を受診する	15.0%	11.4%	10.7%	11.0%	12.1%	16.2%	21.9%
市販の胃腸薬を飲む	37.1%	25.5%	30.5%	35.0%	37.2%	42.2%	41.5%
漢方を飲んでいる	6.9%	10.2%	10.4%	8.1%	5.5%	5.1%	5.8%
サプリメント・健康食品 を摂取する	9.7%	15.8%	16.0%	12.2%	9.2%	6.8%	5.7%
食事の内容や量、時間に 気を遣っている	25.3%	26.7%	28.6%	28.2%	24.5%	22.1%	25.1%
適度に運動している	20.9%	23.0%	21.5%	20.0%	17.2%	18.5%	24.8%
睡眠の時間や質に気を付 けている	16.1%	23.0%	20.2%	20.4%	14.4%	12.7%	12.9%
ストレスを抱え込まない ようにしている	17.2%	22.8%	21.9%	21.7%	16.2%	13.3%	14.1%
その他	0.9%	0.5%	0.6%	0.5%	0.5%	1.1%	1.5%
特に意識して対策している ことはない（がまんを含む）	22.1%	22.9%	25.5%	24.1%	26.2%	21.9%	16.2%

計26032名

・胃の不調に関しては、医療機関の受診よりも市販薬での対処が多い

年代別 胃の不調原因

■ 胃の不調で考えられる原因

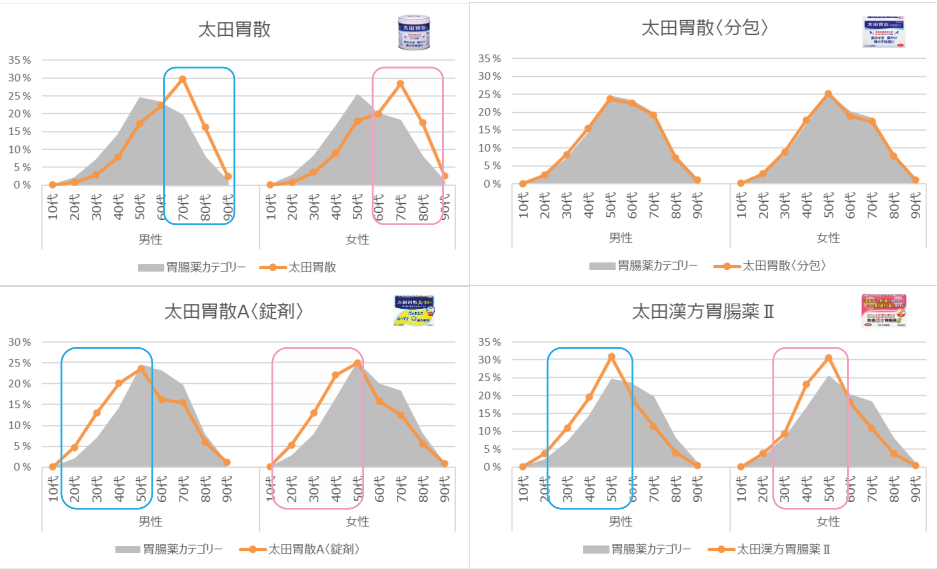
Q.胃の不調を感じる際、あなたは何が原因だと考えていますか？（複数選択）

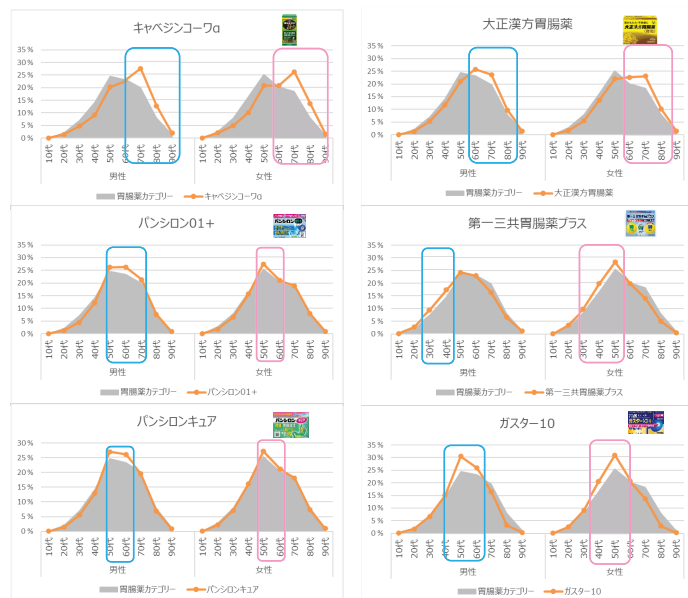
	全体※	20代	30代	40代	50代	60代	70代
食べすぎ	42.3%	43.6%	46.3%	45.7%	42.9%	39.8%	39.5%
食事をする時間が不規則	11.1%	16.4%	16.5%	12.8%	12.2%	9.0%	6.5%
油物のとりすぎ	26.0%	31.6%	35.2%	32.2%	26.0%	22.2%	18.9%
炭水化物のとりすぎ	11.7%	17.8%	15.6%	14.7%	11.4%	9.0%	8.1%
肉の多い食生活	9.4%	15.2%	16.5%	12.3%	9.4%	6.3%	4.6%
米・雑穀（バランスのかたより （偏食が多い）	11.7%	20.5%	20.6%	14.5%	11.9%	8.1%	5.1%
お酒の飲みすぎ	18.7%	16.8%	18.9%	18.6%	20.3%	22.0%	15.3%
体質	11.6%	16.2%	15.1%	14.4%	11.6%	9.5%	8.3%
ストレス	33.5%	42.9%	44.6%	43.2%	38.6%	28.6%	19.7%
加齢（としをとること）	36.7%	7.6%	19.7%	32.5%	40.4%	45.7%	49.2%
運動不足	21.7%	20.4%	21.8%	20.8%	21.0%	21.5%	23.4%
睡眠不足	17.7%	25.6%	23.8%	21.5%	18.9%	14.2%	11.4%
生理（月経）・つわり	4.7%	16.4%	13.1%	8.4%	1.2%	0.1%	0.1%
更年期	8.0%	3.4%	4.2%	13.3%	15.8%	7.9%	4.1%
かぜ等の他の病気の影響	7.0%	8.8%	9.4%	8.0%	7.3%	6.0%	5.3%
その他	2.0%	1.3%	0.9%	1.2%	1.5%	2.4%	3.3%
わからない・考えたことが ない・不調はない	4.4%	3.4%	3.7%	3.6%	3.8%	4.8%	5.6%

計26032名

・食生活由来（食べすぎ・油物のとりすぎなど）以外にも、ストレス・年齢が原因と思われるものも多い

製品別 購入者性年代別構成比①





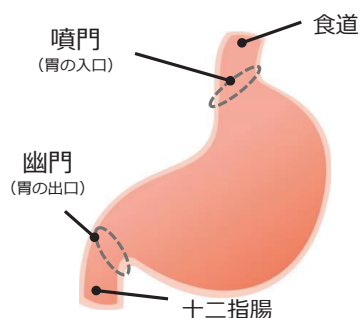
出典：Eagle Eye（2025年4月～2026年3月）

「キャベジンコーワα」はリニューアル品。顆粒剤・錠剤との合算
「大正漢方胃腸薬」「パンシロン01+」「第一三共胃腸薬プラス」「パンシロンキュア」は顆粒剤・錠剤の合算

9



胃の構造と役割

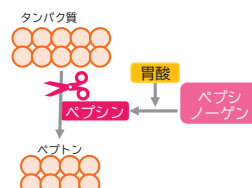


胃のはたらき

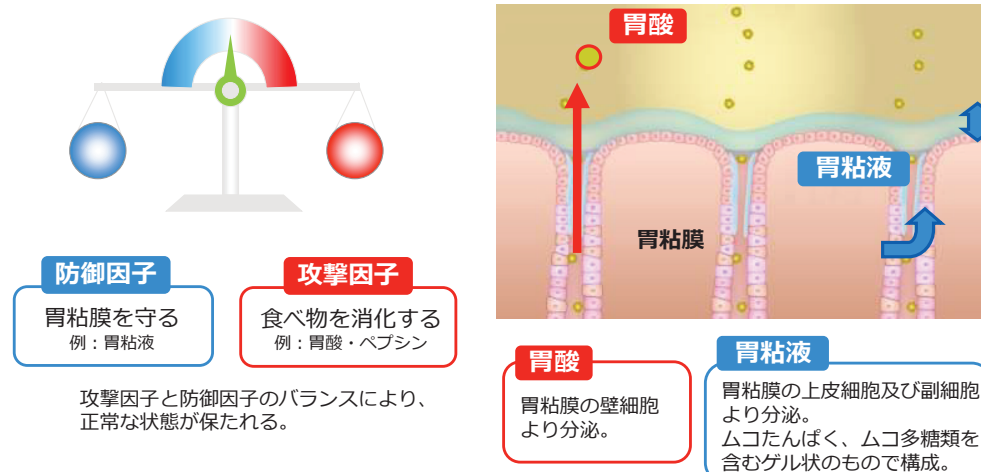
1. 摂取した食物を一時的に収納
2. 胃液を分泌し、
食物の消化と殺菌、胃粘膜の保護を行う
3. 蠕動(収縮)運動により食物を攪拌して
粥状にしつつ、腸へ運搬

消化において大事なのが・・・
胃酸、ペプシノーゲン、粘液

- | | |
|-------------|------------------------|
| 胃酸 | 病原菌の殺菌や
ペプシノーゲンの活性化 |
| ペプシ
ノーゲン | ペプシンとなり、
タンパク質を分解 |
| 粘液 | ペプシンや胃酸から
胃粘膜を保護 |



胃酸と胃粘膜の仕組み

胃粘膜は胃粘液によって守られており、
種々の原因によってバランスが崩れたとき、胃の不快症状があらわれる。

胃腸薬製造販売承認基準と規格

太田胃散

区分	主な規格(1日)		主な成分
第Ⅰ欄 制酸剤	0.1M塩酸の中和力	150mL以上	炭酸水素ナトリウム、合成ヒドロタルサイト メタケイ酸アルミン酸マグネシウム、 沈降炭酸カルシウム
第Ⅱ欄 健胃剤	生薬係数和※ ¹	0.5～3.0 (3成分以上の場合)	ケイヒ、ニクズク、ゲンチアナ ウコン、ウイキョウ、ガジュツ、オウバク カルニチン塩化物、乾燥酵母
第Ⅲ欄 消化剤	でんぷん糊精化力 たんぱく消化力 脂肪消化力	210U以上 1500U以上 100U以上	ピオチアスターゼ プロザイム リパーゼ
第Ⅳ欄 整腸剤	整腸生菌	1×10 ⁶ 個以上	ビフィズス菌、フェカリス菌、アシドフィルス菌、 納豆菌、酪酸菌、ラクトミン
第Ⅴ欄 止瀉剤	成分係数和※ ¹	0.5～1.0	塩化ペルベリン、クレオソート、 オウレン、オウバク、ゲンノショウコ
第Ⅵ欄 鎮痛・ 鎮痙剤	成分係数和※ ¹	0.5～1.0	スコポラミン臭水素酸塩水和物、 アミノ安息香酸エチル、ロートエキス、 カンゾウ、シャクヤク
第Ⅶ欄 粘膜 修復剤			MMSC、L-グルタミン、テブレノン
第Ⅷ欄 消泡剤			ジメチルポリシロキサン

※¹係数和：同一欄内の各成分の最大量を配合量でわり合計する。
※²：Ⅵ欄1項のロートエキスが配合されている場合のみ。

※¹係数和：同一欄内の各成分の最大量を配合量で割り、合計する。

17

代表的な制酸剤と特徴

太田胃散

第Ⅰ欄 制酸剤

	成分名	特 徴
速効性	炭酸水素ナトリウム	水溶性。炭酸ガス発生。
	炭酸マグネシウム	瀉下性。非吸収性。炭酸ガス発生。
	酸化マグネシウム	少量で胃酸の中和、多量で下剤の効果がある。 炭酸ガス発生。
中間・ 持続性	メタケイ酸アルミン酸マグネシウム	アルミニウムとマグネシウムの両方を含む。 胃粘膜保護作用あり。
	合成ヒドロタルサイト	アルミニウムとマグネシウムの両方を含む。 胃粘膜保護作用あり。
遅効・ 持続性	沈降炭酸カルシウム	便秘性。リンを吸着させる作用もある(カルタン錠)。
	合成ケイ酸アルミニウム	弱瀉下性。胃粘膜保護作用あり。
	ロートエキス	胃酸やペプシンの分泌を抑制。痙攣抑制作用あり。

■ 制酸剤の配合理由

- 胃液を中和し胃酸過多等による症状の緩和
- 胃粘膜の保護
- 消化酵素の至適pHの維持
- 胃液(酸)に弱い整腸菌を守る

胃腸薬製造販売承認基準の欄別効能

太田胃散

※第Ⅶ欄・第Ⅷ欄は効能・効果は標榜できない

効能・効果	げっぷ(おくら)	胃部不快感	胃部膨満感	胃部重	胃部・腹部膨満感	胃弱	消化不良による胃部・腹部膨満感	消化促進	腹部膨満感	整腸(便通を整える)	便秘	下痢	消化不良による下痢	腹痛※を伴う下痢	食あたり	はき下し	食あたり	腹痛	さしこみ(拒痛、痛)	胸つかえ	もたれ(胃もたれ)	胸やけ	嘔吐	飲み過ぎ(過飲)	はきけ(むかつき、胃のむかつき、二日酔、悪酔のむかつき、嘔気、悪心)	胃痛	胃酸過多	消化不良	食欲不振(食欲減退)	軟便
I 制酸剤	○	○	○	○																○	○	○	○	○	○	○	○			
II 健胃剤					○	○														○	○	○	○	○	○			○	○	○
III 消化剤								○	○											○	○							○	○	○
IV 整腸剤										○	○	○																		○
V 止瀉剤												○	○	○	○	○	○	○												○
VI 鎮痛・鎮痙剤																		○	○		○					○	○			

※²：Ⅵ欄1項のロートエキスが配合されている場合のみ。

18

制酸剤の規格

太田胃散

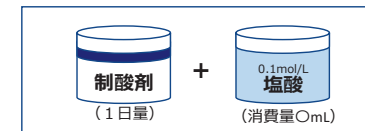
■ 制酸剤の規格と評価

胃腸薬製造販売承認基準でも定められている規格

中和力(総制酸力)

制酸力試験(日本薬局方)

塩酸消費量から制酸力を評価



1日分で 塩酸150mL以上
1回分で 50mL以上
制酸剤(第Ⅰ欄)の効能効果が記載できる(主薬)

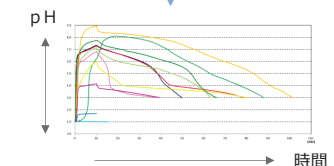
1日分で 75mL以上
1回分で 25mL以上
制酸剤を有効成分の欄に記載できる(佐薬)

※pHは3.5以上でなければならない

中和のスピード(即効性・持続性)

フックス(Fuchs)変法試験

制酸剤によるpHの経時的変化を測定

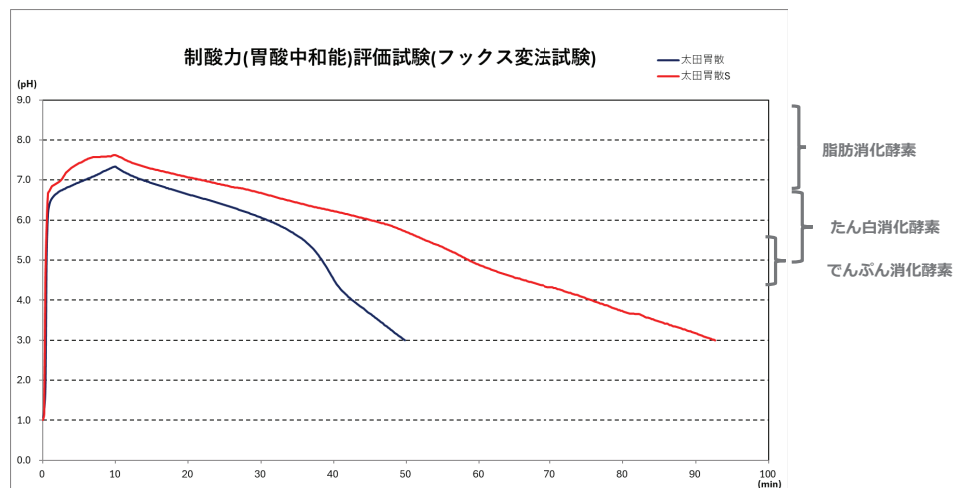


20

フックス変法試験②

太田胃散

フックス(Fuchs)変法試験におけるフックス(Fuchs)曲線



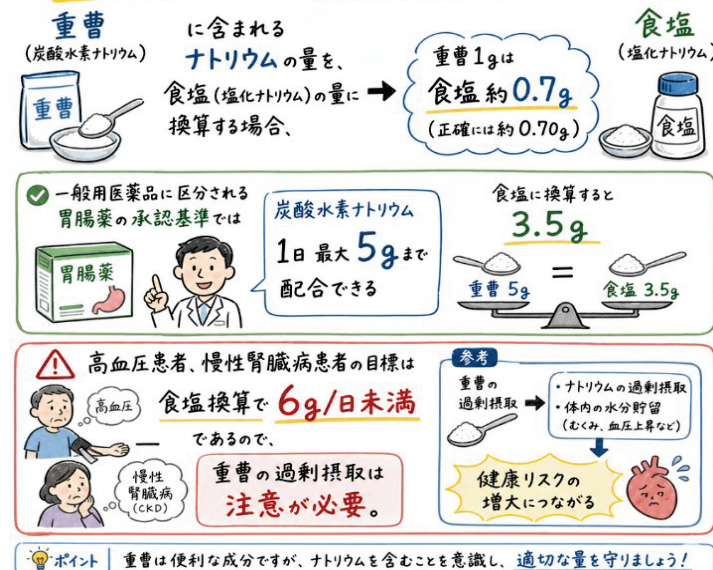
- 消化性潰瘍の治療ではpH3以上、急性胃炎・逆流性食道炎の治療ではpH4以上を保つ場合に良好な結果が期待できるとされている。
- ペプシン(たん白質分解酵素)の不活化はpH3以上、失活はpH5.5とされている。
- pH3以下でガストリン(胃酸の分泌促進ホルモン)の分泌抑制が起こる。

21

炭酸水素ナトリウム(重曹)の塩分缶換算量

太田胃散

重曹のナトリウム量を食塩の量に換算すると?



代表的な健胃剤

太田胃散

第Ⅱ欄 健胃剤

健胃生薬

- 苦味: オウバク、ニガキ、ゲンチアナ
- 辛味: ショウキョウ、サンショウ
- 芳香性: ケイヒ、チンピ、ウイキョウ



苦味や辛味、香り(芳香)が味覚や嗅覚を刺激することによって、反射的に消化管運動を活発にします。

生薬を含む散剤

できればオブラートなどで包まず
そのまま服用した方がより効果を期待できます。

乾燥酵母

副交感神経を刺激し胃運動亢進、胃液分泌促進作用があります。

カルニチン塩化物

栄養補給、代謝機能亢進作用があるますが効能・効果は記載できません。

23

代表的な消化剤

太田胃散

第Ⅲ欄 消化酵素・消化剤

消化酵素

- バイオチンアスターゼ: 主にでんぷんやたんぱく質を消化
- リパーゼ: 脂肪を消化
- プロザイム: たんぱく質を消化

炭水化物

たん白質

たん白質

脂肪



ウルソデオキシコール酸

胆汁排泄を促進、脂肪・脂肪酸の分解促進のほか、肝機能を助け、解毒作用を亢進させるともいわれています。

健胃生薬

- 芳香性健胃薬: ケイヒ、ウイキョウ
- 苦味健胃薬: ゲンチアナ、ニガキ

胃運動促進剤

- カルニチン塩化物
- トリメブチンマレイン酸塩

24

整腸剤・止瀉剤

太田胃散

第Ⅳ欄 整腸剤

整腸生菌

- ビフィズス菌、フェカリス菌、アシドフィルス菌、納豆菌、酪酸菌など

腸内細菌のバランスを整える

整腸生薬

- アカメガシワ、ケツメイシ、ゲンノショウコ等

腸管運動の調節、腸粘膜保護など

第Ⅴ欄 止瀉剤

	成分名	特 徴
1項	木クレオソート、タンニン酸ベルベリン、アクリノール等	腸内の有害な細菌を殺菌
2項	タンニン酸、ビスマス塩類	腸粘膜の保護、炎症を鎮める収斂作用
3項	天然ケイ酸アルミニウム、活性炭等	腸内で発生した有毒物等の吸着
4項	カルシウム製剤	
5項	生薬(センブリ、ゲンノショウコ等)	殺菌成分や収斂成分を含有

その他の成分

太田胃散

第Ⅵ欄 鎮痛鎮痙剤

	成分名	特 徴
1項	副交感神経遮断剤 ロートエキス、臭化ブチルスコポラミン	副交感神経の働きを遮断し、胃の痛みや痙攣を緩和
2項	鎮痙剤 パバベリン塩酸塩	胃の筋肉に直接作用し、痙攣の緩和や、局所麻酔作用によって痛みを緩和
3項	局所麻酔剤 アミノ安息香酸エチル	
4項	生薬 エンゴサク、カンゾウ、シャクヤク、コウボク	鎮痛・鎮痙成分を含有

第Ⅶ欄 粘膜修復剤

	成分名	特 徴
1項	アズレンスルホン酸ナトリウム	
2項	アルジオキサ	アルミニウム含有の使用上の注意記載
3項	グリチルリチン酸	配合量により使用上の注意記載
4項	L-グルタミン酸	
5項	銅クロロフィリンナトリウム	
8項	メチルメチオニンスルフォニウムクロライド	独特な臭い
9項	生薬(アカメガシワ、カンゾウ、エンゴサク)	第Ⅳ欄にも収載

第Ⅷ欄 消泡剤

	成分名	特 徴
	ジメチルポリシロキサン	胃内の気泡を破泡

主な基準外成分

太田胃散

成分名	作用	商品名	効能・効果
ファモチジン	胃壁細胞のH2受容体を競合的に遮断し胃酸分泌を抑制。	ガスター10	胃痛、もたれ、胸やけ、むかつき
ピレンゼピン	M1受容体を選択的に遮断し胃酸分泌を抑制。 (心臓や平滑筋臓器への作用は少ない)	ガストール	胃痛、胸やけ、胃酸過多、胸つかえ、げっぷ、胃もたれ、胃重、胃部不快感、胃部膨満感・はきけ(むかつき、胃のむかつき、二日酔・悪酔のむかつき、嘔気、悪心)、嘔吐、飲み過ぎ、食べ過ぎ、消化不良、消化不良による胃部・腹部膨満感、消化促進、食欲不振
スクラルファート (ショ糖硫酸エステルアルミニウム塩)	pH3.5以下で潰瘍部のたん白質成分と結合し、保護層形成・治癒促進。ペプシン活性を抑制。 PGE2産生亢進による胃粘膜血流増加。 EGF産生亢進による粘膜細胞増殖	スクラート	胃痛、もたれ(胃もたれ)、胃重、胃部膨満感、胃部不快感、消化不良、消化不良による胃部・腹部膨満感、消化促進、食欲不振(食欲減退)、食べ過ぎ(過食)、飲み過ぎ(過飲)、吐き気(むかつき、二日酔・悪酔のむかつき、胃のむかつき、嘔気、悪心)、胸つかえ、嘔吐、胸やけ、胃酸過多、げっぷ(おくひ)
テブレノン	胃粘液合成・分泌促進 胃酸分泌抑制	セルベール	胃もたれ、胸やけ、食べ過ぎ、飲み過ぎ、胃部・腹部膨満感、食欲不振、吐き気(むかつき、嘔気、悪心)、嘔吐、胸つかえ
トリメブチン マレイン酸塩	消化管運動調律 低濃度でコリン作動性神経末端からのアセチルコリン遊離促進し蠕動運動を促進	タナベ胃腸薬 〈調律〉	胃もたれ、胃部膨満感、胃重、吐き気(胃のむかつき、二日酔・悪酔のむかつき)、胃部不快感、食べ過ぎ、飲み過ぎ、消化促進、消化不良による胃部・腹部膨満感、食欲不振、胃弱、消化不良、胸つかえ、胃痛、胸やけ、胃酸過多、げっぷ、嘔吐
チキジウム臭化物	抗コリン作用による胃酸分泌抑制 鎮痙作用	大正胃腸薬P	胃痛、腹痛、さしこみ(腹部痙攣)
イトプリド塩酸塩	D2受容体に拮抗・アセチルコリンの分解を抑制することで、消化管運動を亢進する。	イラクナ	胃もたれ、胃部・腹部膨満感、食欲不振、胸やけ、はきけ、嘔吐

主な胃腸症状の原因と対応

胃もたれ・食欲不振

太田胃散

● 胃もたれとは

食べてから時間が経っても胃が重たく、胃の中に食べ物が残っていて不快な状態のこと

● 原因

負担のかけすぎ

- 食べすぎ
(特に脂っこいもの)
- 飲みすぎ
- 食べるのが速い



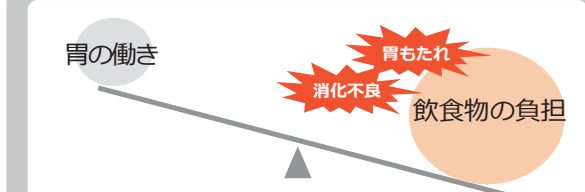
胃の機能の低下

- 疲労
- 加齢
- ストレス



● 対策

胃の働き



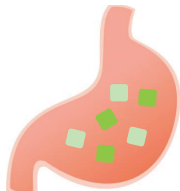
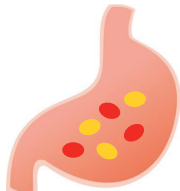
消化剤 健胃剤

消化をサポート!

食物の胃内滞留時間

Obata 太田胃散

胃から十二指腸へ送られるまでの時間は、
食べたものによって変わります。

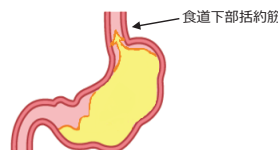
炭水化物  2～3時間 《例》 米、うどん、パスタ類	たん白質  4～5時間 《例》 魚、肉、卵、大豆	脂肪  7～8時間 《例》 サラダ油、マーガリン、ラード
--	--	--

通常空腹状態になるには5～6時間必要とされています。
1日3回の食事により、胃は休みなく働き続けています

「胃食道逆流症」の原因となる「薬剤・因子」

Obata 太田胃散

- 胃食道逆流症（胸やけ）の症状を起こす胃の状態
 - 弁の緩み
 - 腹圧が高くなる
 - 胃酸過多（胃酸分泌亢進）
 - 胃運動の低下



- 原因となる薬剤・因子

食道下部括約部の圧を低下させる	薬剤	抗コリン作用を有する薬剤、カルシウム拮抗薬、テオフィリン、ニトロ化合物、β2刺激薬、ジアゼパムなど
	因子	喫煙、脂肪分の多い食品、チョコレート、
胃酸分泌を促進する	薬剤	アスピリンなどの非ステロイド性抗炎症薬、カルニチン塩化物、カフェインなどのキサンチン系薬剤
	因子	コーヒー、ドリンク剤、喫煙、香辛料、柑橘類、炭酸飲料、繊維質
胃内排泄時間を遅らせる	薬剤	抗コリン作用を有する薬剤
	因子	過食、消化管運動障害

主な胃腸症状の原因と対応

胸やけ・胃酸過多

Obata 太田胃散

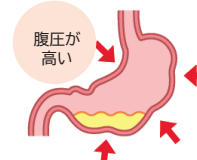
- 胸やけとは

みぞおちから胸部にかけて、
チリチリと焼けるような感覚がすること

- 原因

弁の緩み・締め付け

- 加齢
- 肥満
- 前かがみの姿勢



胃液の分泌過剰

- 食べすぎ（特に甘いもの、イモ類）
- 脂っこい食事、刺激物



- 対策

制酸剤
胃酸分泌抑制剤
胃粘膜修復剤

速効性の制酸剤が有効
効果的な剤形：直接患部に作用するもの
例）粉末、チュアブル錠

サッと広がる 嚙んで服用



二日酔い・むかつきへの対応

Obata 太田胃散

- 二日酔いとは

お酒を飲んだ後、翌日に残っている様々な症状。
頭痛やむかつき、吐き気などが生じる。

- 原因

アルコールが肝臓で分解されて生じる
「アセトアルデヒド」や
お酒に含まれる不純物等が体内に作用し、
頭痛やむかつき、吐き気を引き起こす。



- 対策

健胃薬
肝臓水解物
制酸剤

弱った胃の働きを高める
肝臓の新陳代謝を高め、栄養強化効果をもたらす
胃酸の働きを抑え、ムカムカを鎮める

漢方薬

五苓散など
（胃腸内の余分な水を排出し、弱った胃の働きを高める）

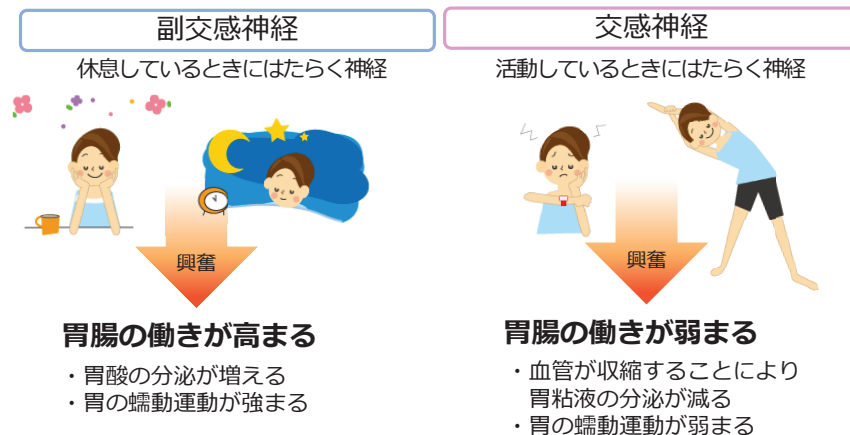
主な胃腸症状の原因と対応（神経性胃炎）③

太田胃散

● ストレス胃とは？

胃べ過ぎでも飲み過ぎでもないのに胃の調子が悪い

胃のはたらきは自律神経によってコントロールされている



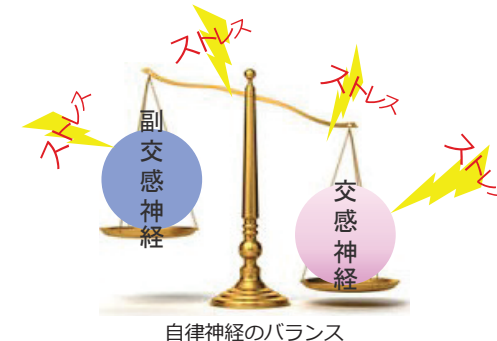
33

主な胃腸症状の原因と対応（神経性胃炎）②

太田胃散

● ストレス胃の原因は？

不安や緊張などのストレスにより自律神経のバランスが乱れると、胃に不快な症状が現れる。

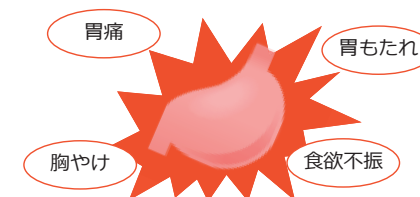


● ストレス胃の対策！

漢方胃腸薬
(自律神経の乱れを整える)

＜効果的な漢方処方例＞

「安中散」
「安中散加茯苓」
「半夏厚朴湯」
「半夏瀉心湯」

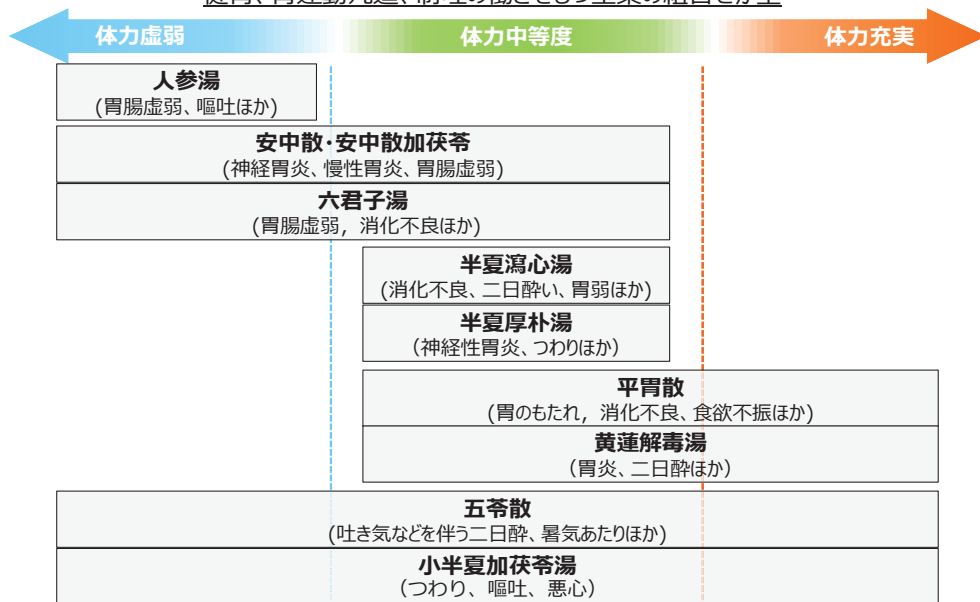


34

代表的な漢方処方（健胃・消化を適応症として持つもの）

太田胃散

健胃、胃運動亢進、制吐の働きをもつ生薬の組合せが主



代表的な漢方処方（健胃・消化を適応症として持つもの）

太田胃散

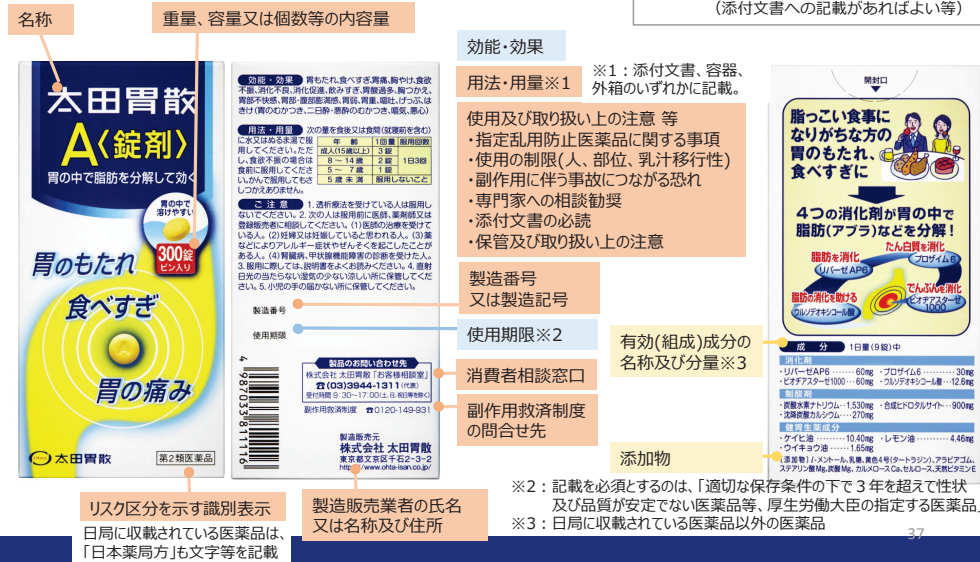
処方	体力	しぼり	効能・効果
人參湯	虚弱	疲れやすく手足などが冷やすいもの	胃腸虚弱、下痢、嘔吐、胃痛、腹痛、急・慢性胃炎
安中散 安中散加茯苓	中等度以下	腹部は力がなくて、神経過敏で胃痛又は腹痛があって、ときに胸やけや、げっぷ、胃もたれ、食欲不振、はきけ、嘔吐などを伴うもの	神経性胃炎、慢性胃炎、胃腸虚弱
六君子湯		胃腸が弱く、食欲がなく、みぞおちがつかえ、疲れやすく、貧血性で手足が冷やすいもの	胃炎、胃腸虚弱、胃下垂、消化不良、食欲不振、胃痛、嘔吐
半夏瀉心湯	中等度	みぞおちがつかえた感じがあり、ときに悪心、嘔吐があり食欲不振で腹が鳴って軟便又は下痢の傾向のあるもの	急・慢性胃腸炎、下痢・軟便、消化不良、胃下垂、神経性胃炎、胃弱、二日酔いほか
半夏厚朴湯		気分がふさいで、咽喉・食道部に異物感があり、ときに動悸、めまい、嘔気などを伴うもの	不安神経症、神経性胃炎、つわり、せき、しわがれ声、のどのつかえ感
平胃散	中等度以上	胃がもたれて消化が悪く、ときにははきけ、食後に腹が鳴って下痢の傾向のあるもの	食べ過ぎによる胃のもたれ、急・慢性胃炎、消化不良、食欲不振
黄連解毒湯		のぼせがみで顔色赤く、いろいろして落ち着かない傾向のあるもの	鼻出血、不眠症、神経症、胃炎、二日酔いほか
五苓散	体力にかかわらず使用できる	のどが渇いて尿量が少ないもので、めまい、はきけ、嘔吐、腹痛、頭痛、むくみなどのいずれかを伴う	水様性下痢、急性胃腸炎、暑気あたり、頭痛、むくみ、二日酔い
小半夏加茯苓湯		悪心があり、ときに嘔吐するもの	つわり、嘔吐、悪心、胃腸炎

包装容器への記載例

● 直接の容器等の記載事項（例：太田胃散A＜錠剤＞）

直接の容器（箱、ボトル等）を更に外箱（化粧箱等）に入れる場合は、
直接の容器等の表示が透かして見えない時には外箱（化粧箱等）にも表示が必要となる。

- ：表記義務がある項目
- ：該当するもののみ表示義務がある項目
- ：直接の容器等には記載義務がない項目
(添付文書への記載があればよい等)



副作用情報

- ・OTC医薬品は安全性重視で商品設計・承認されている。
その中でも、お客様の体質、病状等でごく稀に副作用は発生する。

例：一部の漢方薬（小柴胡湯など） → 間質性肺炎
酸化マグネシウム → 高マグネシウム血症
解熱鎮痛剤他 → スティーブンジョンソン症候群
グリチルリチン酸（甘草） → 偽アルドステロン症

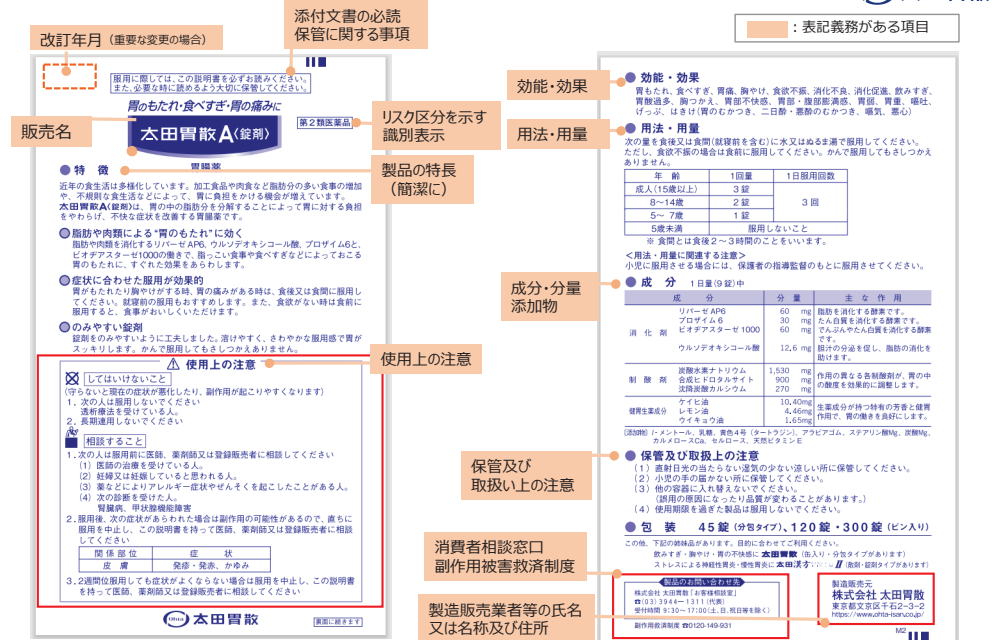
- ・副作用が発生したら厚生労働省*に報告する義務がある。

報告期限なし：医師・薬剤師・登録販売者などの医療関係者
報告期限あり：製薬企業

*実務上はPMDAに報告書を提出

- ・それを元に「使用上の注意」の改訂が行われる。

添付文書の記載例



使用上の注意①(服用してはいけない方)

- 服用してはいけない方

- ◎ **授乳中の方**が服用できない製品（服用する場合は授乳を避ける）
- a) **ロートエキス**を含有する製品
母乳に移行して、乳児に一時的な頻脈等が現れることがある
 - b) **H₂ブロッカー**製品
母乳に移行することが報告されている

- ◎透析療法をしている方が服用できない製品

- a)アルミニウム含有制酸剤
アルミニウム骨症、アルミニウム脳症が現れるおそれがある
- ・アルミニウムを含有する胃腸薬を長期に服用した場合：
アルミニウムが体内に蓄積し、アルミニウム骨症やアルミニウム脳症を発症した報告あり

- ◎「服用後、乗り物又は機械の運転・操作はしない」ができない製品
a) プレンゼピンを含有する製品

一部抜粋。その他の注意事項は、各製品の添付文書を参考にしてください

使用上の注意②(相談すること)

太田胃散

◎甲状腺機能障害の診断を受けた人

- ・カルシウムを含む制酸剤を含有する製品
血中Ca濃度上昇による甲状腺機能低下症又は副甲状腺機能亢進症を悪化させる恐れがある。

◎腎臓病の診断を受けた人

- ・Al、Na、Ca、Mg等を含む制酸剤を含有する製品
腎臓に障害があると、Na、Ca、Mgなどのイオンが体内に貯留しする恐れがある。

◎塩分制限を受けた人

- ・Naを含む制酸剤を含有する製品
体内のNa濃度が高くなると、体は濃度を一定に保とうとして水分を溜め込む。

◎妊娠中の方が服用してはいけない製品

- ・ウルソデオキシコール酸を含有する製品
胎盤を通過して、胎児に悪影響を与えるおそれがある
- ・ロートエキスを含有する製品
胎盤を通過して、胎児に一時的な頻脈等が現れるおそれがある

◎緑内障の診断を受けた人

- ・ロートエキスを含有する製品
房水流出路が狭くなり眼圧が上昇し、緑内障を悪化させる恐れがある

一部抜粋。その他の注意事項は、各製品の添付文書を参考してください

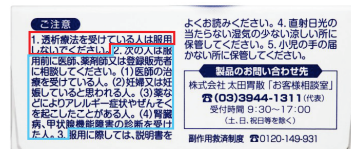
41

外箱等に記載される使用上の注意

太田胃散

●してはいけないこと(外箱等に記載される)

対象者	関与成分	備考
透析療法	アルミニウム含有制酸剤	アルミニウム脳症や貧血等
授乳中	H2ブロッカー	母乳への移行が報告されている
	ロートエキス	母乳に移行して乳児に一時的な頻脈のおそれ



●相談すること(外箱等に記載される)

対象者	関与成分	備考
妊婦	ロートエキス	胎児や新生児に頻脈等
	ウルソデオキシコール酸	動物実験で大量投与による胎児毒性
高齢者	グリチルリチン酸・甘草*1	薬剤の作用が現れやすい
	ロートエキス	

*1:グリチルリチン酸として40mg/日以上又は甘草として1g/日以上

一部抜粋。その他の注意事項は、各製品の添付文書を参考してください

使用上の注意③(相談すること)

太田胃散

●特徴的な「相談すること」

血栓のある人、血栓症を起こすおそれのある人

成分：セトラキサート（胃粘膜分泌増加作用、胃粘膜微小循環改善作用）

理由：セトラキサートは代謝されてトラネキサム酸を生成するため、血栓が安定化するおそれがある。



肝臓病の診断を受けた人

成分：トリメブチンマレイン酸塩（消化管運動調律作用）

デプレノン（胃粘膜修復・保護など）

理由：まれに肝機能障害（重篤な副作用）が起こる可能性がある。



フェニルケトン尿症の人

成分：アスパルテーム(L-フェニルアラニン化合物)など
(添加物として配合)

理由：フェニルアラニンがチロシンに変換されず、体内に蓄積するおそれがある。



42

外箱等に記載される使用上の注意

太田胃散

●相談すること(外箱等に記載される)

対象者	関与成分	備考
腎臓病	グリチルリチン酸・甘草*1	Na貯留、K排泄促進による腎臓病悪化
	(制酸成分など)	Na…体液量増大、腎負担増大 Mg…吐き気・嘔吐、低血圧等 Ca…吐き気、食欲不振、倦怠感等 Al…アルミニウム脳症など
高血圧	グリチルリチン酸・甘草*1	Na貯留、K排泄促進による高血圧悪化
心臓病	グリチルリチン酸・甘草*1	
	ロートエキス	頻脈
緑内障	ロートエキス	眼圧上昇
甲状腺機能障害	カルシウム含有	血中Ca濃度上昇による甲状腺機能低下症 又は副甲状腺機能亢進症の病態に悪影響
排尿困難	ロートエキス	尿の貯留・尿閉
むくみ	グリチルリチン酸又は甘草*1	症状悪化

*1:グリチルリチン酸として40mg/日以上又は甘草として1g/日以上

一部抜粋。その他の注意事項は、各製品の添付文書を参考してください

使用上の注意 (成分)



● 主な「してはいけないこと」

赤字は外部の容器又外部の被包に記載

関与成分	対象者	主な製品
アルミニウム含有制酸剤	透析療法	太田胃散S、太田胃散A<錠剤>、 第一三共胃腸薬s、第一三共胃腸薬プラス、 パンシロン01、パンシロンG、パンシロンキュア
	長期連用	
グリチルリチン酸・甘草 ※ ¹	長期連用	半夏瀉心湯等 (甘草を配合している漢方処方)
ピレンゼピン	妊婦	パンシロンキュア ガストール錠
	運転	
	乗物酔い薬の併用	
	鎮痛鎮痙薬の併用	
H2ブロッカー	授乳中	ガスター10
ロートエキス	授乳中	キャベジンコーワαプラス、 パンシロン01プラス、パンシロンG、スクラート
	鎮痛鎮痙薬の併用	

*¹:グリチルリチン酸として40mg/日以上又は甘草として1g/日以上
一部抜粋。その他の注意事項は、各製品の添付文書を参考してください

45

使用上の注意 (成分)



● 主な相談すること

赤字は外部の容器又外部の被包に記

関与成分	対象者	主な製品
ロートエキス	妊婦	キャベジンコーワα、 第一三共胃腸薬a、 パンシロン01、パンシロンG、 パンシロンAZ、スクラート 他
	薬アレルギー	
	緑内障	
	高齢者	
	腎臓病	
	排尿困難	
	心臓病	
	母乳が出にくくなることもある	
消化酵素	薬アレルギー	太田胃散、キャベジンコーワα、 第一三共胃腸薬、パンシロン01 他

一部抜粋。その他の注意事項は、各製品の添付文書を参考してください

使用上の注意③



● 主な「相談すること」

赤字は外部の容器又外部の被包に記載

関与成分	対象者	主な製品
医師の治療中	※共通事項 (自己判断で他の薬剤を服用すると、 同種薬剤の重複投与や相互作用を引き起こすおそれ)	
アルミニウム、カルシウム、 マグネシウム、ナトリウム 含有制酸剤	腎臓病	太田胃散S、太田胃散A<錠剤>、キャベジンコーワαプラス 第一三共胃腸薬細粒s、第一三共胃腸薬プラス パンシロン01プラス、パンシロンG、パンシロンキュア 他
ウルソデオキシコール酸	妊婦	太田胃散A<錠剤>、ハイウルソ顆粒 他
カルシウム含有制酸剤	甲状腺機能障害	太田胃散S、太田胃散A<錠剤>、キャベジンコーワαプラス、 第一三共胃腸薬s、第一三共胃腸薬プラス、 パンシロン01プラス、パンシロンG、パンシロンキュア 他
グリチルリチン酸・甘草 ※ ¹	高齢者	半夏瀉心湯 等 (甘草を配合している漢方処方)
	腎臓病	
	高血圧	
	心臓病	
	むくみ	
ピレンゼピン	緑内障	パンシロンキュア、ガストール錠

*¹:グリチルリチン酸として40mg/日以上又は甘草として1g/日以上
一部抜粋。その他の注意事項は、各製品の添付文書を参考してください

46

使用上の注意④



● 相談すること

妊婦	ロートエキス	胎児や新生児に頻脈等
	ウルソデオキシコール酸	動物実験で大量投与による胎児毒性
高齢者	グリチルリチン酸・甘草 * ¹	薬剤の作用が現れやすい
	ロートエキス	
腎臓病	グリチルリチン酸・甘草 * ¹	Na貯留、K排泄促進による腎臓病悪化
	(制酸成分など)	Na…体液量増大、腎負担増大 Mg…吐き気・嘔吐、低血圧等 Ca…吐き気、食欲不振、倦怠感等 Al…アルミニウム脳症など
高血圧	グリチルリチン酸・甘草 * ¹	Na貯留、K排泄促進による高血圧悪化
心臓病	グリチルリチン酸・甘草 * ¹	
緑内障	ロートエキス	頻脈
	ロートエキス	眼圧上昇
甲状腺機能障害	カルシウム含有	血中Ca濃度上昇による甲状腺機能低下症 又は副甲状腺機能亢進症の病態に悪影響
排尿困難	ロートエキス	尿の貯留・尿閉
むくみ	グリチルリチン酸又は甘草 * ¹	症状悪化

*¹:グリチルリチン酸として40mg/日以上又は甘草として1g/日以上
一部抜粋。その他の注意事項は、各製品の添付文書を参考してください

48

● 主なしてはいけないこと

対象者	関与成分	備考
透析療法	アルミニウム含有制酸剤	アルミニウム脳症や貧血等
授乳中	H ₂ ブロッカー イトプリド	母乳への移行が報告されている
	ロートエキス	母乳に移行して乳児に一時的な頻脈のおそれ
妊婦	ピレンゼピン イトプリド	安全性が確立されていない
運転	ピレンゼピン	目のかすみ、異常なまぶしさ等（散瞳）
長期運用	アルミニウム含有制酸剤	アルミニウム脳症や貧血等
	グリチルリチン酸・甘草 ※1	偽アルドステロン症・ミオパチー
	イトプリド	—
併用薬	鎮痛鎮痙薬	ロートエキス 作用増強
	乗物酔い薬	ピレンゼピン 目のかすみ、異常なまぶしさ等（散瞳）

※1:グリチルリチン酸として40mg/日以上又は甘草として1g/日以上 一部抜粋。その他の注意事項は、各製品の添付文書を参考してください

～ 病変が見つからない胃の症状～

症状の原因となる器質的、全身性、代謝性疾患がないにもかかわらず、慢性的に心窩部痛や胃もたれなどの心窩部を中心とする腹部症状を有する疾患
※胃食道逆流症状を含めない



○ PDS（食後愁訴症候群）

食後膨満感、早期満腹感



○ EPS（心窩部痛症候群）

心窩部痛、心窩部灼熱感



検査で異常が見つからなくても、つらい症状が続くことがあります。症状に応じた適切な対応や、生活習慣の見直しが大切です。

機能性胃腸症（機能性ディスペプシア:FD）

胃酸分泌抑制薬



- PPI（ランソプラゾール、オメプラゾール） 推奨の強さ: 強
- H₂ブロッカー（ファモチジン、シメチジン） 推奨の強さ: 強
- P-CAB（ボノプラザン） 推奨の強さ: 弱

消化管運動機能改善薬



- アセチルコリンエステラーゼ阻害薬（アコチアミド） 推奨の強さ: 強
- ドバペリン拮抗薬（イトプリド、メクロプラミド） 推奨の強さ: 弱
- 5-HT₄R作動薬（モサプリド） 推奨の強さ: 弱

漢方薬



- 六君子湯 推奨の強さ: 強
- その他 推奨の強さ: 弱

抗うつ薬



- 抗うつ薬 推奨の強さ: 弱
- 抗不安薬 推奨の強さ: 弱

その他

（有効か明らかでないため推奨度なし）



- 制酸薬
- プロスタグランジン誘導体
- 消化管粘膜保護薬（スカルファート、レバミピド）



胃不全麻痺

胃不全麻痺（GP）とは？

胃不全麻痺（GP）は器質的な閉塞機転がないにもかかわらず胃排出遅延をきたす疾患で、これによって



などの症状をきたす。GPは基本的に胃の神経筋機能不全症の一型と位置づけられているが、症状と胃排出遅延により規定される疾患なので、その診断には胃シンチグラフィや胃排出呼吸試験などの胃排出試験が必須である。



GPの原因・背景（さまざまなものがある）

- 糖尿病に合併するものが多い
- その他
 - 術後胃（胃切除術後など）
 - パーキンソン病など
 - 腎不全などの全身性疾患
 - 薬剤性
 - ウイルスや細菌感染後など

胃不全麻痺（GP）と機能性ディスペプシア（FD）のちがい

	胃不全麻痺（GP）	機能性ディスペプシア（FD）
疾患の定義	胃排出遅延によって規定される疾患	症状により定義される疾患
成り立ち	胃排出遅延（客観的所見）があることが必須	器質的、全身性、代謝性疾患など原因となりそうなものを排除した原因不明のものでなければならぬ
原因・合併症	原因不明のものだけでなく、様々な合併症を有する場合でもその診断名はつく	上記の疾患などをすべて除外した原因不明のものに限る
症状のちがい（特に悪心・嘔吐）	GP 悪心、嘔吐が呈することが多い	FD これらの症状（特に嘔吐）を伴うことはまれである

★ GPは胃排出遅延を客観的に証明することが重要！ 症状だけではなく、胃排出試験での評価が必須！

相手の状況をみてOTC医薬品での対応が可能かを判断する

- ✓ お客様の状態
 - 年齢、性別
 - 妊娠/妊娠の可能性
 - 通院/持病/服用中の薬
 - 痛みの種類・場所
- ✓ 症状の経過
 - 急性症状
 - 長期間の継続
 - 痛みの起こり方

胃のトラブルが下記のときは受診を勧める

- ✓ 症状がひどい…「早めに病院へ受診してください」
 - 痛みが強い
 - 発熱している
 - 嘔吐、吐血 など
- ✓ 症状が軽くても続く…「一度検査をすると安心です」
 - ピロリ菌の感染
 - 機能的胃腸障害 など
- ✓ このような場合にも…
 - 副作用があらわれた
 - 「所定の期間」服用してもよくなる

※添付文書に記載されている「所定の期間」は、製品によって、3日間であったり、2週間であったりする

安心することで
症状が良くなることもある

医師ではないので直接的な病名は控える
・重篤な副作用の場合、医師による適切な治療が必要である
・OTC医薬品では治療できない状態である可能性がある

● 慢性的な症状の場合

代表的な症状	要因	病名
胸やけ、胸の痛み	内臓脂肪・前屈姿勢	食道裂孔ヘルニア
胃もたれ、満腹感、胃痛、吐き気	原発性、糖尿病性	胃不全まひ

➤ 診断後OTC医薬品で対応することが多い・経過観察が主体

代表的な症状	要因	病名
腹痛、下痢、便秘の慢性的な繰り返し	遺伝・環境	過敏性腸症候群(IBS)
胸やけ、呑酸、胸の痛み、のどの不快感	過食・食道裂孔ヘルニア	胃食道逆流症
常に胃に不快感がある、胃もたれ、腹痛、食欲不振、胸やけ	ピロリ菌・ストレス	慢性胃炎

➤ 軽症ならOTC医薬品で対応可能・症状に応じて受診勧奨

代表的な症状	要因	病名
胃もたれ、早期満腹感、胃痛、吐き気・嘔吐	糖尿病	胃不全麻痺
胃・みぞおちの痛み、胃部不快感、胸やけ、吐き気、食欲不振 →貧血や黒色便	塩分・喫煙・ピロリ菌	胃癌
腹痛、食欲不振、腹部膨満感 →黄疸、腰や背中での痛み	糖尿病・喫煙	膵臓がん
腹水、黄疸、羽ばたき振戦(手の震え)、倦怠感	肝炎ウイルス・飲酒	肝硬変

➤ OTC医薬品では対応可能できない・受診勧奨

受診勧奨が必要と思われる胃腸症状(急性症状)

● 急性的な症状・その他の場合

代表的な症状	要因	病名
腹痛、下痢、血便、嘔吐、発熱、悪寒	菌やウイルス	食中毒

➤ 診断後OTC医薬品で対応することが多い・経過観察が主体

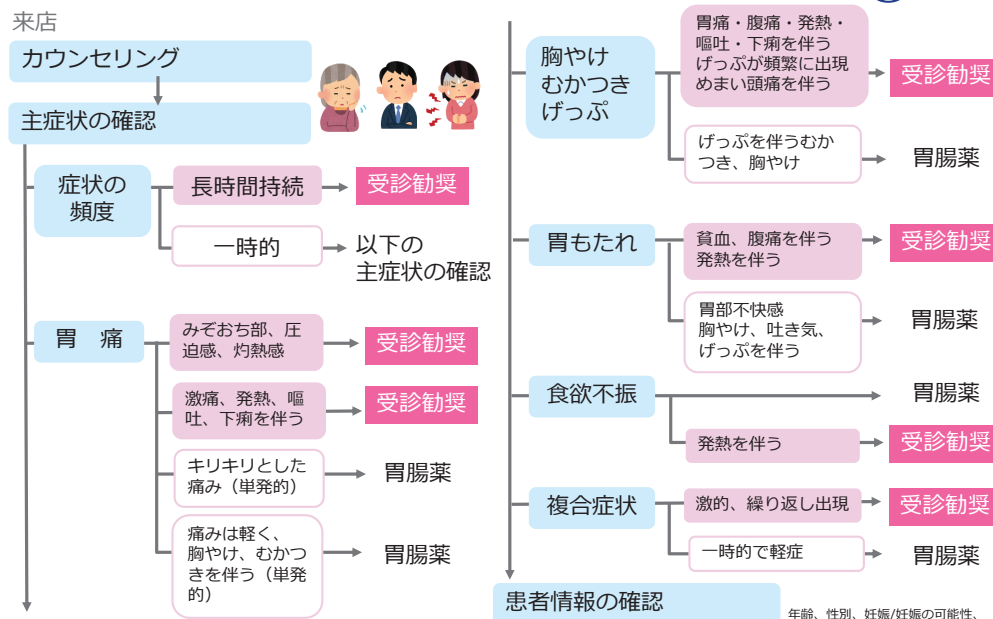
代表的な症状	要因	病名
突然の胃痛、発熱、吐き気、嘔吐、胸やけ	ストレス・飲酒・薬	急性胃腸炎
吐き気・嘔吐、意識の混濁、昏睡、血圧の低下	飲酒	急性アルコール中毒
みぞおちや肩などの上半身の痛み(関連痛)、胸の圧迫感、発汗	動脈硬化	狭心症
むくみ、脱力感、倦怠感、筋力低下	甘草を含む漢方薬	偽アルドステロン症
吐き気、嘔吐、食欲不振、胃の圧迫感、眠気	妊娠	つわり
食欲不振、不眠、全身倦怠感	ストレス・体質	うつ病

➤ 軽症ならOTC医薬品で対応可能・症状に応じて受診勧奨

代表的な症状	要因	病名
イカや魚(光り物)の刺身を食べた10時間程度で胃痛、吐き気	寄生虫	胃アニサキス症
みぞおち部分から徐々に右下腹部に強い痛み、発熱、吐き気	炎症・虫垂の閉塞	虫垂炎
下痢、水様便、粘液便、腹痛、発熱	抗菌薬	偽膜性大腸炎

➤ OTC医薬品では対応可能できない・受診勧奨

胃腸薬販売フローチャート



胃を大切に

胃は生活習慣や気分など様々な影響を受けやすく、
多様な症状があらわれます。

肝臓が「沈黙の臓器」と呼ばれるのに対し、
胃は「雄弁な臓器」と呼ばれ、
胃腸の調子は健康のバロメーターになります。

美味しい食事を楽しみ、健康な毎日を過ごすために、
これからも、胃を大切に。

－ ご清聴ありがとうございました。－